

平成24年2月22日

フィーダー機能強化事業評価委員会

評価結果

- ・ いずれも次年度の継続が妥当。
- ・ なお、消席率の改善に向けたサービスの見直しや新規荷主の開拓、追加投入船の前倒しの検討を行うこと等により、更なるコンテナ貨物の集荷について検討されたい。